

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	母子保健健康診査事業						担当部	健康福祉部							
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系		担当課	保健センター							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	母子保健係							
	総合計画 分野別計画	主目的	3 保健福祉		10 健康づくり		3 親子が共に育み合うことができるように支援する									
		副目的	11-4		14-4											
	予算区分	款	4		項	1		目	4		大	3		中	6	
	根拠法令・個別計画	母子保健法														
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	健やかに成長できるよう、親が子どもの成長について理解し不安なく楽しく子育てができるようにする。														
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦・乳児健康診査 公費負担の妊婦健康診査14回、乳児健康診査2回を医療機関委託にて実施。 ・乳幼児健康診査 乳幼児健診(4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診)、事後検診、2歳3か月児歯科健診、母親歯科健診を実施。 また、健診の場を利用して育児相談、健康教育も実施した。 上記の事業を実施しながら、子どもの健康状態、成長発達、育児状況を確認し、親が安心して子育てできるよう、寄り添いながら支援した。 <p>◆24年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 備人料等(6,954千円) 消耗品・印刷製本費等(2,797千円) 委託料(158,343千円) 補助金(6,129千円) <p>◆25年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 備人料等(7,730千円) 消耗品・印刷製本費等(3,510千円) 委託料(157,990千円) 補助金(6,887千円) 														
	受益者負担	無														

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	164,158	163,999	174,225	176,117	
		正職員	従事者数	人	2.68	3.00	3.00	3.00
			人件費	千円	14,284	15,990	15,990	15,990
		その他職員	従事者数	人	0.83	1.00	1.00	1.00
			人件費	千円	2,084	1,856	2,098	2,098
	費用合計	千円	180,526	181,845	192,313	194,205		
	対前年比	%		100.7	105.7	100.9		
財源	一般財源	千円	147,042	146,740	155,112	191,280		
	国・県支出金	千円	33,484	35,105	37,201	2,925		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	乳幼児健康診査実施回数	回	目標	120	120	120
実績				120	120	120	
乳幼児健診時健康教育		回	目標	144	144	144	144
			実績	144	144	144	
事後検診実施回数		回	目標	18	18	18	18
			実績	18	18	18	
成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25	
乳幼児健康診査受診率	%	目標	95.0	95.0	95.0	95.0	
		実績	95.3	94.8	96.0		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	<p>事業の達成状況</p> <p>子どもの健康状態や成長発達を確認したり育児支援をする乳幼児健診や事後健診を目標どおり開催することができた。また、乳幼児健診の受診率も96%と目標を上回った。</p> <p>事業実施における課題</p> <p>受診率は目標を達成できているが、今後は100%により近づけるよう健診の周知に力を入れる必要がある。健診に来てよかった、また相談したいと思える保健センターであり続けられるよう、健診そのものの流れや健診に数多く入るスタッフの意識統一を常に図っていく必要がある。</p> <p>事業を縮小・廃止したときの影響</p> <p>乳幼児健診事業を廃止することにより、子どもの健康状態や成長発達を確認したり育児支援を継続的にする機関がなくなり、疾病や成長発達について発見が遅れたり、適切な時期に育児支援をすることができなくなる恐れがある。</p>
	平成25年度の改善内容	<p>25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)</p> <p>前年度の未受診者の受診勧奨の取り組みを検証しながら、今年度も積極的に受診勧奨し、子の成長発達を親と共に確認し、育児支援を実施していく。</p>
	平成26年度の事業の方向性	<p>方向性の判定</p> <p>維持</p> <p>事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)</p> <p>判定理由</p> <p>健診等を目標どおり達成することができ、一定の成果を挙げており、現状の成果を維持したまま、今後も子どもの健康状態や成長発達を確認したり育児支援を継続していく必要があるため。</p> <p>26年度以降の改善案</p> <p>今後も受診勧奨に勤めると共に、育児支援に力を入れていく。 健診に来てよかった、また相談したいと思える保健センターであり続けられるよう、健診時間やスタッフの対応等常に全体を見渡して改善に結び付けられるように、健診そのものの流れや健診に入るスタッフの意識統一を常に図ることを目的に健診後のカンファレンスにおいて、毎回積極的に意見交換していけるようスタッフに周知する。</p>

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。